

Title	次号目次 前号目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1964
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.57, No.10 (1964. 10)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19641001-0094

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

次号目次

論 説

法人利潤、付加価値および売上高の変動……浜田文雅

フランク社会における土地所有の動態について

宇尾野 久

アジア低開発地域の経済成長と域内貿易

の展望（一九六〇—一九七〇年）……大西昭

書 評

『ラブルールの動静』……M・ペナル著

『一八四八年から一八四九年にかけてのケルンにおけるカール・マルクスとフリードリッヒ・エンゲルス』……ケルン労働者協会の歴史によせて

飯田鼎

書 評

『十七世紀パリ南城の事例』……渡辺國廣

書 評

『ヨーロッパ社会の比較史』……M・カエル著

『革命の時代——一七八九年から一八四八年までのヨーロッパ』……ロバート・オウエン著

新刊紹介

新刊紹介

前号目次

論 説

人口の発展潜在力……安川正彬

企業の投資配分……浜田文雅

ヨーロッパ社会の比較史……渡辺國廣

資料・研究ノート

『マルク・ブロックの提言に寄せて』……

『ミカエル・ハーリングトン著』……

『もう一つのアメリカ』……白井厚

『アメリカ合衆国に於ける貧困』……中鉢正美

書 評

『革命の時代——一七八九年から一八四八年までのヨーロッパ』……飯田鼎

書 評

『ヨーロッパ社会の比較史』……E・J・ホップスバウム著

『革命の時代——一七八九年から一八四八年までのヨーロッパ』……飯田鼎

新刊紹介

昭和三十九年十月一日発行

◎三田学会雑誌 第五十七卷

定価 一二〇円（送料二円）

編集人兼 代表者 遊部久蔵

慶應義塾経済学会

電話三田(43)二一一一

振替口座番号 東京四〇五六

東京都港区芝三田二丁目二番地

東京都港区芝三田豊岡町八番地

図書印刷株式会社 安倍七郎

半カ年予約購読料（送料共）

一カ年 〃 一四〇円

御希望の方は左記へ購読料を添え御申込み下さい。

東京都高輪局区内三田網町一番地

発売所 慶應通 振替口座番号 東京一五五四九七

この夏、ある研究会の工場見学の一環として「黒四ダム」を訪れる機会をえた。一般には非開放地域となつてゐる黒部ルートから入るべく、宇奈月から峡谷沿いに黒部軌道を櫛平へ。一般観光客はここでおろされ、これより先是、関電の保護帽をかぶつた者だけしか行けない。トンネルに入り、エレベーターに乗り換えて上昇、上部軌道と呼ばれる密閉車に乗り込む。トンネル、鉄橋、またトンネルと六糸。途中、硫黄の臭気をもつ五〇度もの高熱地帯を通過して行きついたところが発電所。エア・コンディショナーが二〇度を保持し、タイルや大理石に輝やく近代的な地下の大建築物だ。発電機のうなりと共に説明を聞きながら見学の後、三五度の急傾斜レールをゆつくりと登るインクラインで三〇分、マイクロ・バスに乗りつぎ延長一〇糸の導水管にそつた黒部トンネルを通ってダムに着く。一望して、人間の自然征服力が、本気になれば、いかにぞえらるものであるぞさせながら、何回となく風を呼び雨を呼んだ。「本当のダムには雨が降る」と一行の誰かが言つた。もちろん、「小河内ダムへの皮肉である。

乗車時間二〇分で四五〇円という「日本一高運賃」のトロリー、バスで大町ルートを通つて帰京。その日には東京も四〇数日ぶりで雨、貯水池にも相当降つたらしい。しかし、翌朝の新聞には「オリジナルピックのため」に「理由づけだけであつて水問題ではなかつた」ということのないことを期待したい。

（常盤政治）